

Activation of posterior belly of digastric muscle during swallowing. 31st Dysphagia Research Society Annual Meeting. (San Francisco, USA) 2023年3月15日.

- 4) Yuhei Tsutsui, Titi Chotirungsan, Satomi Kawada, Kajita Piriyaprasath, Jin Magara, Takanori Tsujimura, Keiichiro Okamoto, Kensuke Yamamura, Makoto Inoue. Functional role of posterior belly of digastric muscle in swallowing in the rat. 第28回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会, 幕張メッセ(千葉県・千葉市) 2022年9月23日
- 5) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 意図的に嚙むことの習慣化による、咀嚼に関連する前頭前野の活動の促進. NEURO2022(沖縄コンベンションセンター), 沖縄 2022年6月30日.
- 6) 吉岡望, 黒瀬雅之, 佐野裕美, 知見聡美, 山村健介, 南部篤, 竹林浩秀: dystonia musculorum マウスの運動異常における感覚運動回路の役割. NEURO2022(宜野湾市民体育館), 沖縄 2022年7月1日.
- 7) 山村健介: 生理学からみた咀嚼. 日本咀嚼学会学術講演会2022(日本歯科大学), 東京, 2022年12月3日.
- 8) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村 将悟, サンタマリア マリアテリース, 堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼行動の習慣化が若年者の認知課題関連脳活動に与える効果の検討. 生体医工学シンポジウム2022(オンライン) 2022年9月10日.
- 9) Tatsuya Suzuki, Yukina Miyazaki, Ryo Takehara, Sotaro Shimada, Yoko Hasegawa, Syogo Yoshimura, Ma Therese Sta. Maria, Kensuke Yamamura, Takahiro Ono, Yumie Ono: Evaluation of systemic artifact removal methods for functional near-infrared spectroscopy signals. 生体医工学シンポジウム2022(オンライン) 2022年9月10日.
- 10) 新沼小百合, 森川和政, 熊谷美保, 山村健介, 黒瀬雅之: 在宅での使用を念頭においた多軸触圧センサを活用した小型粘度計開発, 特定非営利活動法人日本咀嚼学会 第33回学術大会, 徳島, 2022年10月1日.
- 11) 長谷川陽子, 吉村将悟, 鈴木達也, 白水雅子, サンタマリアマリアテリース, 山村健介, 小野弓絵, 小野高裕: 摂取食品に対する情動変化が脳神経活動に与える影響. 日本顎口腔機能学会 第68回学術大会, 新潟, 2022年12月17日.
- 12) 宮崎透奈, 竹原遼, 鈴木達也, 嶋田総太郎, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース,

堀一浩, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 咀嚼機能の変容による認知機能と脳活動パターンの変化. 日本顎口腔機能学会 第68回学術大会, 新潟, 2022年12月17日.

- 13) 鈴木達也, 宮崎透奈, 長谷川陽子, 吉村将悟, サンタマリア マリアテリース, 山村健介, 小野高裕, 小野弓絵: 近赤外分光法を用いたガム咀嚼課題中の脳血流計測および皮膚血流ノイズ除去手法の評価. 日本顎口腔機能学会 第68回学術大会, 新潟, 2022年12月17日.

【その他】

- 1) 山村健介: 咀嚼をつかさどる脳と身体のしくみ. 日本咀嚼学会 第22回健康咀嚼指導士認定研修会(オンライン) 2022年7月13日~7月27日.
- 2) 岡本圭一郎: 新潟発・生活習慣の工夫による健康増進法. 大阪大学・歯学部大学院特別講義 大阪 2023年2月3日.
- 3) 岡本圭一郎: 米由来食品でストレスを解消する令和4年度後期 新潟大学公開講座 新潟市 2022年11月12日.
- 4) 岡本圭一郎: 百薬の長「日本酒」のヒミツ. 令和4年度「そのき市民学級 人生百年時代 賢く生きる」新潟市 2022年10月5日.

口腔生化学分野

【論文】

- 1) Komatsu A, Iida I, Nasu Y, Ito G, Harada F, Kishikawa S, Moss SJ, Maeda T, Terunuma M. Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. *J. Biol. Chem.* 2022 May; 298(5):101933.
- 2) Chen X, Ravindra Kumar S, Adams CD, Yang D, Wang T, Wolfe DA, Arokiaraj CM, Ngo V, Campos LJ, Griffiths JA, Ichiki T, Mazmanian SK, Osborne PB, Keast JR, Miller CT, Fox AS, Chiu IM, Gradinaru V: Engineered AAVs for non-invasive gene delivery to rodent and non-human primate nervous systems. *Neuron.* 2022 Jul; 110(14): 2242-2257.
- 3) Ibano N, Inada E, Otake S, Kiyokawa Y, Sakata K, Sato M, Kubota N, Noguchi H, Iwase Y, Murakami T, Sawami T, Kakihara Y, Maeda T, Terunuma M, Terao Y, Saitoh I. The Role of Genetically Modified Human Feeder Cells in Maintaining the Integrity of Primary Cultured Human Deciduous Dental Pulp Cells. *J. Clin. Med.* 2022 Oct;

11(20):6087.

- 4) 堀岡伸彦、關奈央子、河野文昭、照沼美穂、平田創一郎、長谷川篤司、田口則宏：モデル・コア・カリキュラム改訂。日本歯科医学教育学会雑誌，第38巻第3号，2022.

【商業誌】

- 1) 市木貴子，岡勇輝：消化管における飲水感知メカニズムの解明。実験医学，40(9) 6月号，1436-1439頁，羊土社，2022.

【研究費獲得】

- 1) 照沼美穂：歯周病原細菌としての精神疾患発症機構の解明。日本学術振興会科学研究費補助金 基盤(B)，21H03109.
- 2) 照沼美穂：新たな不安発症の分子基盤解明のための日丁共同研究。日本学術振興会科学研究費基金国際共同研究強化(B)，22KK0140.
- 3) 市木貴子：神経系による飲水抑制機構の解明。日本学術振興会科学研究費基金 研究活動スタート支援，21K20685.
- 4) 市木貴子：迷走神経による低浸透圧感知メカニズムの解明。日本学術振興会科学研究費基金 若手研究，22K15223.
- 5) 那須優介：歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析。新潟大学 未来のライフ・イノベーションを創出するフロントランナー育成プロジェクト。J21H0032.
- 6) 那須優介：歯周病原細菌感染症による脳内・脳機能変化の解析。新潟大学令和4年度Ugo Grant支援研究費。J21H0032.

【招待講演・シンポジウム】

- 1) 照沼美穂：海外と日本で研究室を主催して見えてきたもの。Neuro2022（日本神経化学会、日本神経科学会、日本神経回路学会合同大会）若手育成セミナー，沖縄県那覇市，2022年6月29日-30日。
- 2) 照沼美穂：歯学教育モデル・コア・カリキュラム 基礎系領域の改訂のポイント，第41回日本歯科医学教育学会学術大会（オンライン形式），2022年7月23日。
- 3) Miho Terunuma: New era of basic science in Dentistry - Importance of nutrition research-, 5th DENTISPHERE, Indonesia Surabaya, 2022.9.3-9.4.
- 4) 照沼美穂：歯学モデル・コア・カリキュラム改訂における基礎系の変更点。第64回歯科基礎医学会学術大会，徳島県徳島市，2022年9月17日-19日。
- 5) 照沼美穂：神経伝達物質の制御から精神・神経疾患

を読み解く。第8回沖縄県パーキンソン病講演会，沖縄県那覇市，2022年10月21日。

- 6) 照沼美穂：栄養と脳。第4回オーラルサイエンス研究会，長野県松本市，2022年11月13日。
- 7) 市木貴子：消化管における低浸透圧感知メカニズム。第6回感覚フロンティア研究会シンポジウム，大阪（ハイブリット開催），2022年10月8日
- 8) 市木貴子：迷走神経による消化管内の浸透圧感知メカニズム Sensing mechanisms of gut osmolality in the vagus nerve. 日本生理学会 第100回記念大会，京都，2023年3月16日

【学会発表】

- 1) 那須優介、今井真美子、横山望実、照沼美穂：アストロサイトにおけるグルタミン合成酵素の発現はHippo-YAP シグナル伝達経路によって制御される。NEURO2022（第45回日本神経科学大会／第65回日本神経化学会大会／第32回日本神経回路学会大会），沖縄，2022年6月30日-7月3日，プログラムおよび講演抄録集：1090頁，2022.
- 2) 那須優介、多部田康一、照沼美穂：マウスを用いた歯周病原細菌性菌血症がもたらす脳内変化の解析。第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日。
- 3) 那須優介、照沼美穂：アストロサイトのグルタミン合成酵素の発現制御システムの解析。第95回日本生化学会大会，名古屋，2022年11月9日-11日。
- 4) 天谷 吉宏，中井 俊樹：HeLa 細胞で安定発現する副甲状腺ホルモン関連ペプチド-EGFP 融合タンパク質が有糸分裂停止による細胞死に及ぼす影響。第95回日本生化学会大会，名古屋，2022年11月9日-11日。
- 5) 今井真美子，横山望実，那須優介，飯田和泉，照沼美穂：NH4Cl 摂取マウスの脳高次機能の解析～アンモニア蓄積がもたらす脳への影響～，第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日。
- 6) 園辺 悠，伊藤元貴，照沼美穂：口腔扁平上皮癌におけるTOFAによる細胞接着阻害のメカニズム，第62回新潟生化学懇話会，新潟，2022年7月16日。

【セミナー等】

- 1) 照沼美穂：Ammonia induces amyloidogenesis in astrocytes by promoting amyloid precursor protein translocation into the endoplasmic reticulum. オルガネラ研究会，新潟（オンライン形式）2022年05月27日。
- 2) 照沼美穂：脳健康と食生活。新潟大学公開講座 人生100年時代に考える「食べることは元氣のもと」。2022年10月22日。